

科目名	専門演習 I A	
担当者	橋本 直樹 / HASHIMOTO, Naoki	
科目情報	法律 / 必修 / 前期 / 演習 / 2 単位 / 3 年次	
科目概要	授業内容	<p>行政法の判例の中から受講者自らが関心のあるテーマを選び、発表者がレジュメを作成し、研究発表してもらい、疑問点や意見について他の受講者及び教員とともに議論する。</p> <p>また問題演習等を行い、行政法の講義で習得した知識の定着を図る。</p> <p>これだけに限らず、受講者の希望に応じた対応をとりたいと思う。</p>
	到達目標	<p>行政法判例を通じて、行政法 I の講義で習得した知識の理解を深めるとともに、プレゼン能力、ディベート能力及び法的思考能力を養うことを目標とする。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) ガイダンス (2) 行政の範囲と主体 (3) 行政法と民事法の関係 (4) 行政法上の権利の性質 (5) 行政組織上の関係 (6) 法の一般原則・一般制度 (7) 行政保有情報 (8) 行政立法・通達・計画等 (9) 行政行為の成立・発効 (10) 行政行為の意義・種類 (11) 行政行為の効力 (12) 行政行為における裁量 (13) 行政行為の瑕疵 (14) 行政行為の取消し・撤回 (15) 行政行為の附款 	
自学自習	事前学習	<p>発表者は、前もってレジュメを作成しておくこと。</p> <p>発表者以外の受講者は、発表者の選んだ判例を前もって読み込んでおくこと。</p>
	事後学習	<p>教科書と発表者が作成したレジュメに基づいて、復習を行い、理解を深めておくこと。</p>
使用教材・参考文献	<p>【教】 宇賀克也・交告尚史・山本隆司編『行政判例百選 I 第6版』有斐閣 2012年 ISBN978-4-641-11511-8</p> <p>【参】 池村正道編『行政法』弘文堂 2012年 ISBN978-4-335-00196-3</p>	
成績評価方法と基準	研究発表の内容、議論への参加態度等を総合して評価する。	
備考		